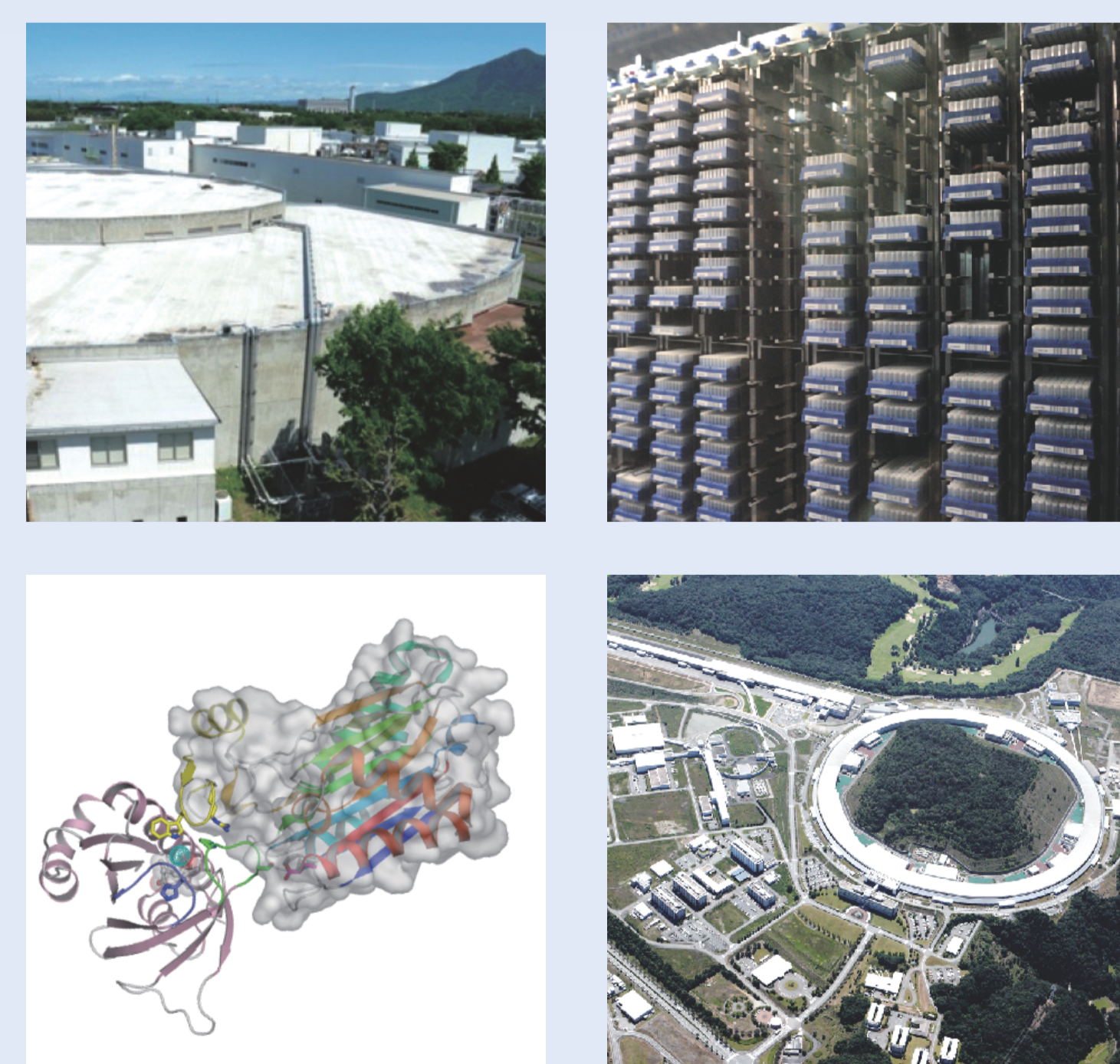


# 高度な技術基盤を活用してすべてのライフサイエンス研究者を支援します。

## 事業のねらい

これまでに国家プロジェクト等で整備が進められてきた世界最高水準の放射光施設 (SPring-8、Photon Factory 等)、化合物ライブラリー (創薬オープンイノベーションセンター)、ハイスループットスクリーニング拠点 (全国7大学)、タンパク質統合データベース (国立遺伝学研究所等) 等を活用し、創薬研究をはじめ、基礎生命科学研究や、食品、農業、環境等に資する研究等、幅広いライフサイエンス研究者を支援することにより、先端的な研究の振興に貢献することを目指しています。

支援に当たっては、技術や施設・設備を共用するとともに、プラットフォームの活用方法や、共同研究等による研究推進体制を提案するなど、必要に応じて研究のコーディネートも実施します。



施設設備の共用  
技術支援



## プラットフォーム推進委員会委員長あいさつ

解析、制御と情報の連帯によるライフサイエンスの飛躍的な発展を目指して

東京都医学研究所  
所長

田中 啓二



近年、生命科学は未曾有の発展をとげて、その結果、多くの病気がゲノム遺伝子ひいてはタンパク質の構造・機能の破綻に起因することがわかってきました。しかし殆どの重篤疾病の発症機構の解明や予防・治療法の確立には、依然として成功していません。また、生物の遺伝子進化には優劣がありませんので、疾病を引き起こす病原体も生体が獲得してきた防御系と拮抗するかのように変異・進化しており、疾病から健康を守るための戦いは未来永劫的に続きます。従って疾病を根本的に克服し健康を維持するためには、生命システムの本質的な理解が不可欠です。この目的を着実に遂行するためには、個人の自由な発想による技術革新をともなった先端的な研究の推進が必須ですが、同時に創出した技術を社会の中で幅広く活用することも重要です。

創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業は、解析、制御、情報の3拠点が技術や設備の共用を通して相互に連携し、タンパク質の構造的基盤の確立から創薬への飛躍的な発展を目指します。

本事業は、革新的な医薬品の創出に繋がる研究や食糧、エネルギー、環境等、わが国を含む世界の国々が21世紀において克服すべき諸問題の解決に焦点を当て、これらの課題に取り組んでいるライフサイエンス研究者を基礎から応用まで幅広く支援します。そのために放射光施設の拡充、ケミカルバイオロジー技術の高度化、タンパク質データベースの構築など、これまでに国家プロジェクト等で包括的に整備してきた施設を有機的に活用できる組織としてプラットフォームを創成しました。

本プラットフォームは、オールジャパン体制で先端的な研究の振興を図るとともに、新しい科学の創出と研究成果が社会の発展に大きく資するようなライフサイエンス研究を多面的に支援します。

施設設備の共用、技術支援がスタートしました。

プラットフォームの利用をご希望の方、支援についてさらに詳しく知りたい方は、本事業 HP から各拠点の HP をご覧下さい。詳しい支援メニューが見られます。

創薬等

検索

<http://pford.jp/>